

A区分・C区分共通  
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	舞踊	種目	バレエ
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃびーしゃんぶるうえすと 株式会社B.シャンブルウエスト	団体ウェブサイトURL	https://www.chambreouest.com/
代表者職・氏名	代表取締役 今村博明		
制作団体所在地	〒 192-0902 東京都八王子市上野町104-16	最寄り駅(バス停)	八王子駅
電話番号	042-624-4037		
ふりがな 公演団体名	バレエシャンブルウエスト	団体ウェブサイトURL	https://www.chambreouest.com/
代表者職・氏名	総監督 今村博明		
公演団体所在地	〒 192-0902 東京都八王子市上野町104-16	最寄り駅(バス停)	八王子駅
制作団体 設立年月	2011年6月		
制作団体組織	役職員 総監督 今村博明 芸術監督 川口ゆり子 事務局 野口桃子 製作 平川有希 バレエミストレス 東松由香里	団体構成員及び加入条件等 団体構成員70名 オーディションによりプロフェッショナルな精神と技術を有したものが選ばれ所属している。川口ゆり子バレエスクールより優秀な修了生からも選抜される。主な舞踊手 吉本真由美 松村里沙 山田美友 吉本泰久 染谷野委 土方一生 藤島光太	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	野口桃子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	金田一順子

本申請にかかる連絡先  
(メールアドレス)

[m-noguchi@chambreouest.com](mailto:m-noguchi@chambreouest.com)

制作団体沿革	<p>1989年 八王子ユースバレエを設立 第1回公演「くるみ割り人形」を上演。  1990年 第1回清里フィールドバレエ開催 日本で唯一の野外バレエ公演として今日まで継続中  毎夏に上演しその年数は34年におよぶ。  1995年 文化庁芸術祭大賞受賞を機に「バレエシャンブルウエスト」と改名。  2000年・2004年 海外公演(ヨーロッパ)  2011年 株式会社B.シャンブルウエストを設立し公演活動の他にも多方面に活動の幅を広げる。</p>		
学校等における 公演実績	<p>団体の地元八王子市の各学校で公演、団員の出身校である津久井第1小学校、福岡県立三池高校にてバレエ公演と共に講演も行うほか  2011年東日本大震災の時には東北3県27都市の避難所を23日間にわたり慰問公演を行い、翌2012年  2013年は被災地の小中学校をまわり団体独自の慰問公演を行った。  平成25年度から令和5年度まで「文化芸術による子供育成総合事業」を担当し全国で多くの小中学校で上演実績があります。</p>		
特別支援学校等における 公演実績	<p>平成25年「次代を担う子供の文化芸術体験事業」を愛知県豊橋養護学校で公演。  初めての特別支援学校での開催であったが、学校との細かな打ち合わせを重ねて  各生徒の状況を把握し個々に対応することができた。  本公演終了後には学校側の希望で生徒との交流の場を設け大変喜ばれた。  平成30年「文化芸術による子供育成総合事業」では三重県立豊学校で公演。  事前にワークショップ、本公演の進行内容を文書で提出し、学校独自の方法での事前学習など準備を進め当日もスムーズに全生徒が鑑賞することができた。  33年間上演している清里フィールドバレエの野外バレエ公演には、知的発達障害者の自立や社会参加を目的としているスペシャルオリンピックスに所属する障害者の方、家族を毎年招待しバレエ上演後には交流会を行っている。</p>		
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	<a href="https://youtu.be/6nxJiezMTuA?si=7GAgHkKkKFvnUXYkl">https://youtu.be/6nxJiezMTuA?si=7GAgHkKkKFvnUXYkl</a>	
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよび	ID:	
	パスワード	PW:	

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 バレエシヤンプルウエスト】

対象	小学生(低学年)	○		
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	名作バレエを観てみよう「白鳥の湖」「くるみ割り人形」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>第1部「バレエってなんだろう」 ～バレエの不思議をかんがえよう～ バレエってなんでしゃべらないの？つま先で立つのはいたくないの？などバレエの不思議をかんがえてみます。</p> <p>第2部バレエの名作を観てみよう 「白鳥の湖」「くるみ割り人形」スペシャルダイジェスト版</p> <p>音楽 チャイコフスキー 演出/振付 今村博明 川口ゆり子</p> <p style="text-align: right;">80 分</p>			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	クラシックバレエの中でも最も有名な作品「白鳥の湖」と「くるみ割り人形」の中から子供たちが聞きなじみがある曲を選んで上演します。			
演目選択理由	「白鳥の湖」はクラシックバレエの代表ともいえる作品であり、衣裳も白いチュチュを着用しバレエをイメージするものです。自宅にかえっても、今後も「バレエを観たことあるよ！白鳥の湖を観たよ！」と話したくなるような作品です。「くるみ割り人形」は舞台芸術に触れる第1歩として小中学生に最適の作品です。耳なじみのあるTVCMでも起用されていたチャイコフスキーの名曲を上演することで聞いたことあるけど実際に踊りは観たことないバレエを観て、未来ある子供たちが芸術文化を感じられる作品になると考えます。			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	「白鳥の湖」では言葉を使わずに白鳥の表現をする動きを一緒に体験します。伝え方には言葉だけではない様々なコミュニケーション方法があることを学ぶことができます。「くるみ割り人形」では各国の踊りや特徴を学び多様性を感じながら一緒に身体を動かしながら表現の方法を感じてもらえます。			
出演者	バレエシヤンプルウエスト団員(別紙参照)			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含	出演者: 10 名 スタッフ: 7 名	運搬	積載量: 3 t 車長: 6 m	

む

合計: 17 名

台数: 1 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		2	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:30	8:45～13:00	13:30～14:50	10分	15:00～16:00	16時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	20日	0日	0日	15日	22日	
	11月	12月	1月	計	84日	
	10日	0日	17日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	100名
		鑑賞人数目安	上限なし(体育館内に収容できる数)

第1部「バレエの不思議を考えよう」



「白鳥の湖」



※採択決定後、図  
案等の提出をお願い  
いたします。  
(舞台の規模や演出が  
わかる写真)



児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	
<p>ワークショップ 実施形態及び内容</p>	<p>解説者1名指導者3名、計4名です。</p> <p>レッスン用の衣裳を着たダンサーがバレエの基本の動きをします。それに合わせて解説者が身体の動きやバレエの基礎の説明をしていきます。</p> <p>バレエは言葉を発しない代わりにマイムという手の動きで表現することを説明しながら、生徒さんも一緒に実践してもらいます。</p> <p>どんなマイムがあるのか、生徒さん自身に様々なコミュニケーション方法があることを学んでいただけるようにします。</p> <p>本公演の「白鳥の湖」「くるみ割り人形」の解説をします。</p> <p>さきほど学んだマイムがどのように舞台中に出てくるのか説明します。</p> <p>「白鳥の湖」の白鳥の動き、「くるみ割り人形」の各国の踊りの特徴など様々な文化によって多様性のある社会を学んでいけるようにします。</p> 		
<p>ワークショップのねらい</p>	<p>言葉を発さないバレエの不思議をかんがえることでコミュニケーション方法は言葉だけでないことを学ぶことができます。コミュニケーション方法の多様化を学び子供たちの情操教育につながると考えます。</p> <p>実際に目の前でダンサーの動き、踊りを見ることで身体の動きの奥深さ、自分自身の身体の動きの可能性を感じることができます。</p> <p>本公演の「白鳥の湖」「くるみ割り人形」の解説をすることで作品の理解度が深まり自宅帰ってからもバレエのお話をできるようになります。</p>		
<p>その他ワークショップに関する特記事項等</p>	<p>ワークショップは本公演当日に実施予定です。</p> <p>公演当日におこなうことで移動費の削減に繋がり、生徒さんたちのバレエへの理解を深めたあとすぐにおこなうことでバレエへの興味が新鮮なうちに作品を見ることができます。</p> <p>ワークショップで交流をおこなったダンサーが実際に舞台上で作品を踊ることで生徒さんの親近感もより深い状態で作品を観ることができます。</p>		



## 本事業への申請理由

【公演団体名 バレエシャンブルウエスト】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p><b>①本事業に対する取り組み姿勢</b>  今日まで種々多彩なバレエ公演を主催する中で、芸術文化が青少年に与える影響とその必要性を強く感じます。特に本物に触れる機会提供する事、子どもたちの心に感動する機会を提供する事は芸術家としての責務であると共に、直接学校へ出向き子どもたちに寄り添い舞台芸術を身近に感じる機会を大切に思います。本事業が未来を担う子ども達の心に残るイベントとして存在することを念頭に取り組んでいきます。東日本大震災後に、バレエシャンブルウエストは被災地での慰問公演を行い23都市27か所でミニバレエ公演を上演しました。学校を含む会場では被災者の方や生徒さんと身近に接し、会話する中でバレエを見て喜んで下さる姿に芸術の力を感じ、一人でも多くの若い世代に本物の芸術に触れて頂く時間の大切さを思いました。どんな地域に住んでいても芸術文化に触れる第一歩としてこの事業が子供たちの未来へどれだけの影響力を与えているか実感しています。</p> <p>劇場に於いての若い世代へのバレエ鑑賞の機会提供に関しては、公益財団法人ニッセイ文化振興財団の依頼を受け日生劇場ファミリーフェスティバルに出演し、「くるみ割り人形」「おやゆび姫」を公演、鑑賞前の解説や、ワークショップを通してバレエに触れ合う機会を提供しました。2015にはニッセイ名作鑑賞教室では「 Coppelia」2018「くるみ割り人形」を上演し若い世代への芸術文化に触れる機会を提供いたしました。平成25年度「こどものための芸術文化体験事業」、平成26年度から令和5年度「文化芸術による子供の育成総合事業」では毎年継続して各地でバレエに初めて出会う子どもたちに鑑賞の機会を提供する事が出来ました。本格的なバレエ鑑賞は初めてだと言う教職員からの言葉に驚き、一層子供たちへの鑑賞の機会提供の必要を感じ、バレエの一層の振興の必要を感じました。</p> <p>このような出会いを通して、若い世代に真の芸術に触れる機会を提供することの意義を思い、生徒達が大人になる時に芸術文化に触れた経験が未来の芸術文化を受け継ぐ人材となるかもしれません。多くの子供たちが芸術に触れる機会を持つことで日本の芸術文化の向上にも繋がると考えます。</p> <p>また、文化は人の心の中に芽生え育つ普遍性を持つもので、継承されるものです。若い時代を上質の芸術に触れることで人は心に文化を育てていく事を自然体で受け止め、その力添えになる事を望んでいます。若い世代の心の成長にバレエが力になる事を実証し、この事業の意義に賛同し力を子どもたちの大きな未来の為に全力を尽くします。</p>
	<p><b>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫</b>  今日までバレエ団設立より35年、バレエ団主催の定期公演を97回上演して参りました。団体所属のダンサーはオーディションで選ばれた70名あまりが在籍し、定期公演については客演ダンサーは少なく、バレエ団在籍のダンサーで上演しています。</p> <p>団体主催で団体の地元である八王子市での学校訪問公演なども小規模ながら実施してきました。</p> <p>平成25年度「こどものための芸術文化体験事業」、平成26年度29年度30年度令和元年度令和2年度令和3年度令和4年度令和5年度の「文化芸術による子供の育成総合事業」等の経験を通して体育館という限られた場所でも子供たちに舞台芸術の素晴らしさを伝えるためにバレエ団設立者の今村、川口の経験豊かな指導者がバレエの解説をしていきます。言葉のないバレエがどのように感動を伝えるのか、体で表現する素晴らしさを伝えます。</p> <p>バレエ団設立時より在籍しているダンサーをはじめとし感受性豊かな若い入籍のダンサーを起用して舞台を構成します。</p> <p>ベテランのダンサーが若いダンサーへ情報を共有し、厳しい条件の会場でも臨機応変に対応していきます。</p> <p>スタッフは学校公演の経験が豊富なメンバーを主要とし、限られた空間でもクオリティを下げずに舞台芸術の世界観を体育館に創り上げていきます。</p> <p>機材は必要最低限かつ質を下げないように選りトラック1台ですべての大道具、衣裳、機材を無駄なく積載しますので、条件が厳しい状況でも対応できます。</p>

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

バレエシャンプルウエスト

】

## ① 離島・へき地等における公演実績

平成25年～平成28年巡回公演において  
沖縄県竹富島、石垣島、西表島などの公演実績あり。

## ② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

## 【特別な事情がある地域での実施にあたっての工夫】

移動が困難な場所の場合でも出演者、スタッフを最小限に設定し、公演ができるようにします。  
機材・資材を少なくすることで運搬が困難な特殊な地域での上演を可能にします。

## 【質を保つための工夫】

出演者は野外劇場バレエを長年経験し、特殊な場所だったり悪条件の環境でも問題なく踊れるように対応します。出演者の中に解説者を入れ小人数のダイジェスト公演でも解説があることで問題なくバレエへの理解を深めることができますようになります。

## 【ワークショップの質を保つための工夫】

ワークショップでは出演者に長年、巡回公演を経験している指導者が入ることで小人数でも実施可能にします。

## ③ C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫

小規模公演の観点から大きなセットなどは使用せずに上演することで経費削減を考えます。  
機材は運ばずになるべく現地の体育館の通常設備で行えるように演出を考えます。  
ワークショップを別日に行わず、当日開催をすることもできますので経費の削減になります。  
経験豊富な出演者、スタッフを少数で形成し上演を可能にすることで旅費を抑えながら質の高い公演を可能とします。

C区分で事業を  
実施するに当たっての  
工夫

リンク先		【公演団体名	バレエシヤンプルウエスト 】
出演者名簿	解説者 今村博明 出演者バレエシヤンプルウエスト団員 1、深沢祥子 2、鈴木愛澄 3、阿部美雪 4、窪田希菜 6、堀江結月 7、太田奈々 8、高坂美輝 9、巻孝明 10、バトムクチンゾリグ		